

青のりカフェ (座談会)

各地区で開催中!

地域の現状を知りたい! 自分が議員になって知った情報をみなさんと共有したい! そんな思いから、誰でも自由に参加できる青のりカフェを行っております。少人数のお友達グループでも構いません。お茶を飲みながら1時間ほどお話ししてみませんか? ご希望の方は事務所までご連絡下さい。

青のりレポート vol.21 でも報告させていただきましたが、引き続き各地区で青のりカフェ(座談会)を開催中です。地域の方の生の声を聴くことで、ふだん届かないようなところまでの意見を聴くことができ、とても貴重な時間となっています。今後もこのような機会を増やしていきたいと考えております。
(子母口・明津・蟹ヶ谷地区につきましては9月~11月に開催予定です)



6月14日 野川



6月21日 新作



Vol. 22



朝ごはんでもおなじみ!

“青のり”こと、

川崎市議会議員

青木のりおの

青のりレポート!
<http://aokinorio.com>

安心ついでに子育てできる街をめざそう

平成26年第二回川崎市議会定例会が開かれました。現在、我が国では、少子化対策を推進しています。それに伴い、私は一般質問で、川崎市の出生率や子育てについての取組について質問をいたしました。少子化に対する国や川崎市の動向を紹介いたします。

【出生率(合計特殊出生率)の減少】

我が国では出生率を現在の1.41から2.07にすることを目標に議論が進められています。平成25年度の合計特殊出生率(女性が生涯で産む子どもの数)は1.43(前年比0.02ポイント上昇)となり、平成8年以来、17年ぶりとなる水準に回復しています。川崎市の出生率については、平成24年は1.36です(前年比0.02ポイント上昇)。出生率の数値目標は、人権に十分に配慮し、個人がプレッシャーを感じないように配慮しながら国と連動していくこととです。

【少子化対策について】

全国的に少子化対策が実施され、国では「次世代育成支援対策推進法」を制定しています。川崎市では現在、「かわさき子ども「夢と未来」プラン」後期計画に基づき、待機児童の解消に向けた保育環境の整備や、子育てしやすい環境づくりなど、さまざまな分野にわたり、総合的に施策を展開し、安心して子どもを産み育てることができ、次世代の社会を担う子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めているところです。

現在では、多数の女性が子育てをしながら働いています。子育て中の女性の社会進出には大きく分けて、働きたい女性と働かざるを得ない女性があります。個人の自己実現やスキルアップのために働くことを希望する女性はおおいに働いていただきたいと思えます。一方で、経済的困難等の理由で働かなければならない女性も多く、本来は子どもが小さいうちは自分の手元

で育てたいという考えを持っていても、それを叶えることが難しい現状に悩みを抱える女性については、その状況を社会が当たり前としないことが重要です。

内閣府の「平成17年版国民生活白書」によると、0歳から21歳まで、子ども一人を育てる費用の総計は、1300万円を超えると推計され、特に、子どもが小さい間は、その世帯における収入が比較的少ないことから、子育てに係わる経済的負担は大きいものと川崎市でも認識しています。そのため、子育て家庭において、希望する数の子どもが持てない現状や育児に専念したい母親が働かざるを得ない家庭も多くあり、少子化対策には、子育て家庭の経済的負担を軽減することも重要であると考えられています。

これに対する動きとして、国においては、今年6月に発表された「経済財政運営と改革の基本方針2014(仮称)「素案」において「少子化対策」が位置づけられ、その中で「夫婦が希望する数の子どもを持つよう、家庭や地域の力も視野に入れ、出産・育児・教育への重点的な支援」の検討が示されました。自治体が少子化対策を行うには、予算の問題に直面することが多いと言われています。家庭支出の対GDP比は海外が3%超に対し日本は1%と額が小さいので、日本も支援を拡大する必要があります。国の取組を注視しながら、引き続き取り組んでいきます。

最近の活動から



「都市農業の現況(宮前メロン)」勉強会
議会かわさき100号発行
記念街頭キャラバン隊!



▲川崎市幼稚園父母の会連合会会長に再任されました

▼陳情いただいた道路(末長)

舗装されていない坂道で側溝も無いので、雨が降るとぬかるみがひどく、泥水が坂の下の一般道路まで流れ出ていました。



川崎市議会議員

青木のりお事務所

〒213-0022 神奈川県川崎市高津区千年637-4
グランドウール千年201

〒213-0027 神奈川県川崎市高津区野川3895

TEL 044-788-8899

FAX 044-788-6440

E-mail info@aokinorio.com

H P http://aokinorio.com



青木のりお 昭和52年8月26日生まれ

- 川崎めぐみ幼稚園、洗足学園小、サレジオ学院中高、産業能率大卒業、英国ボーンマス大学院Dip取得
- 機総商取締役を経て29才で川崎市議会初当選、現在2期目2期連続トップ当選
- 健康福祉副委員長、まちづくり委員長歴任
- 現在、自民党川崎市連青年局副局長、川崎市幼稚園父母の会連合会会長、高津消防団員
- 両親、妻、長男、次男の6人家族

平成26年
第2回
川崎市議会定例会
6月定例会
ご報告

～待機児童ゼロへの挑戦～

平成26年6月2日(月)から6月25日(水)までの会期中、第2回川崎市議会定例会が行われました。自民党川崎市議団の代表質問では、市政課題となつている29項目を取り上げ、質問を行いました。福田新市長とは、3回目の論戦となりました。市長は就任当初、最も幸せの

字を引用して「最幸のまちかわさきを目指す」と議会で述べられました。就任されて6箇月が経過しました。今定例会においては、「市民の幸せ」という抽象論ではなく、市長の公約の実現に向けた具体的な政策手法と財源を示すよう求めました。

新市長と3度目の論戦！

今後の市政運営

自民党市議団が厳しく検証

川崎の魅力の世界へ発信

川崎―羽田を結ぶ連絡橋の整備が大きく前進します。本市の殿町3丁目地区は、医療・環境分野などにおいて研究機関が集積しており、我が国産業の国際競争力強化や国際的な活動拠点形成を促進しています。この度、規制改革及び金融支援措置の施策を総合的かつ集中的に推進するため、国家戦略特区に指定されました。



代表質問をする廣田議員

待機児童ゼロへの挑戦

今年の川崎市における待機児童数が62人と発表されました。これは、昨年の438名と比べて大幅減です。今後も、平成27年の待機児童ゼロに向けたきめ細かい対策が求められます。

また、待機児童数の量的な対策もさることながら、保育の質の維持、向上も大切です。今後も保育の質、量の両面の充実を図って参ります。

待機児童対策の財政面

川崎市の保育施策は、国基準のよりも多く税を投入しています。昨今の保育利用者のニーズは「保育にかける」保護者だけではなく、女性の社会進出や生きがいなど多様な側面で保育所を利用する保護者も多くなりました。今後増える保育需要を考え、真に保育を必要としている方にサービスが行き届くために、受益と負担の関係を精査し、川崎市や国に対して要望して参ります。

我が党は、働く保護者を応援すると共に、子育てする保護者も応援しています。実際、幼稚園と保育園では、公費負担の差が、約10倍です。幼児教育の無償化の運動を推進し、川崎市のすべてのこどもが、健やかに育つ社会システムを目指し、幼保の格差解消に向けても取り組んで参ります。

市長からは、本市の魅力を発信するため、早期整備に向けて全力で取り組むとの決意表明がありました。自民党川崎市議団は、連絡橋の早期整備はもとより、特区指定の強みを生かし、難治性癌の治療法や医療機器の研究開発を一層加速させ、実用化による市民、国民の健康に資するとともにライフサイエンス分野に関連する産業の創出や力強い産業都市を形成し「川崎」の魅力を高めるため全力で取り組んで参ります。



過労死防止の取組強化を！

国において「過労死等防止対策推進法」が成立しました。これを受けて、自民党川崎市議団は本市の姿勢を質したところ、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発や労働安全の確保、職場でのいじめ・パワハラなどの労働相談の強化などに、関係機関と連携し積極的に推進することが示されました。

市長の公約、いつやるの？ 市議会チェック!!

「私は、退職金はもらいません！」と数ある公約の中でも目玉の一つである市長の退職金ゼロ。13年前、阿部市長が誕生し、本人は初当選後直ちに多選自粛条例を制定した事は、我々議員にとっては、記憶に新しいことである。

新市長が誕生し3回目の本会議に於いて、代表質問で問い正した。「公約の一つである市長の退職金ゼロは、何故今になっても議会に上程されないのか？次回の市長選挙直前にパフォーマンス的に行うのか？」

答弁を聞いてあ然としたのは、自民党市議団だけではないはず。(市長)「しかるべき時期にお諮りしてまいりたい」と。この答弁に対して「しかるべきと言葉を残す姿勢には、甚だ疑問を持たざるを得ない。市長は、行政と議会との両輪を大事にされているのだから、早期に出すべき」と指摘した。

これからも毎回、市長の公約チェックをご報告させていただきます。

ご意見は下記、ホームページから
<http://自民党川崎市議団.jp/index.html>